

「広島県内の薬剤師に対しての糖尿病治療に関する教育の推進とその評価」について

○ 研究の意義・目的

近年、糖尿病患者は加速的増加をたどっています。新しい糖尿病治療薬も販売され、糖尿病の薬物療法は高度化・複雑化を呈しています。このような中、薬剤師は、薬学的視点から多職種と連携して薬物療法の質的向上を図ると共に、食事や運動、そして生活習慣などに至るまで幅広い療養指導の実践・向上に努めることが求められています。そこで我々は、2017年に広島県病院薬剤師会の薬剤師専門小委員会を発足させ、糖尿病治療に関する教育の場を設けることで、①糖尿病治療薬の適正使用に貢献できる専門薬剤師の育成、②地域包括ケアシステムにおける他職種の糖尿病治療薬の理解向上と薬剤師との連携推進のため、これまでに8回研修会を開催し、毎回アンケートを実施しています。

アンケート結果の集計・解析により本研修会のアウトカムを明確にすることで、研修会の内容の向上・改善につなげる。また、当委員会の取り組みを県内外に示すため、この研究を計画しました。

○ 研究方法

広島県病院薬剤師会専門薬剤師委員会（糖尿病）が主催・共催する研修会に参加した方を対象とします。研修会終了時に実施した無記名アンケート調査用紙を転記して行います。参加人数と参加者の参加回数・地域は、委員会で集計したデータを研究に提供いただき使用いたします。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

（研究期間 承認後～ 2021年3月31日）

○ 個人情報の保護

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 電話：082-257-5579

広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰（研究責任者）

薬剤師 大東敏和（担当者）